

《同時発表》

中国地方整備局



平成 30 年 11 月 12 日
港湾局産業港湾課

歴史と浪漫が**出会う** 鞆のオアシス

～ 「みなと」を核とした賑わい創出！ 「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」 ～

国土交通省港湾局は、平成 30 年 11 月 14 日に「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」（広島県福山市）を賑わいの拠点となる「みなとオアシス」に登録し、代表施設である「福山市営渡船場」等において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」の登録により「みなとオアシス」は全国 126 箇所になります。
- 11 月 14 日（水）は「ぱしふいっくびいなす」の寄港に合わせて、「みなとオアシス登録証 交付式」を開催するとともに、祝い餅投げ等も行われます。

「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」のポイント!!

- ★代表施設「福山市営渡船場」からは、坂本龍馬が運用した蒸気船を再現した「平成いろは丸」が、鞆の浦～仙酔島を結ぶ！レトロな雰囲気の中、瀬戸内海の潮風を感じることができる！
- ★毎年 2～3 月に開催される「鞆・町並みひな祭り」や 5 月の「鞆の浦弁天島花火大会」など情緒あふれるイベントが多数！
- ★名物の鯛は「鯛めし」や「鯛そうめん」などでご賞味あれ！初夏には「鞆の浦観光鯛網」も開催！



福山市営渡船場内の
カフェ「SHION（潮音）」からの眺め



平成いろは丸



鞆・町並みひな祭

※ 「みなとオアシス」の関連情報については、下記 URL からもご覧いただけます。

- ・ 国土交通省港湾局 HP : http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000001.html
- ・ 一般社団法人ウォーターフロント協会 HP : <http://www.waterfront.or.jp/oasisu/about.html>

<問い合わせ先> 港湾局 産業港湾課 担当：的野、黒木
Tel:03-5253-8111（内線 46-452、46-453）
03-5253-8672（直通） Fax:03-5253-1651

「みなとオアシス」の概要

みなとオアシス所在港湾の一覧

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

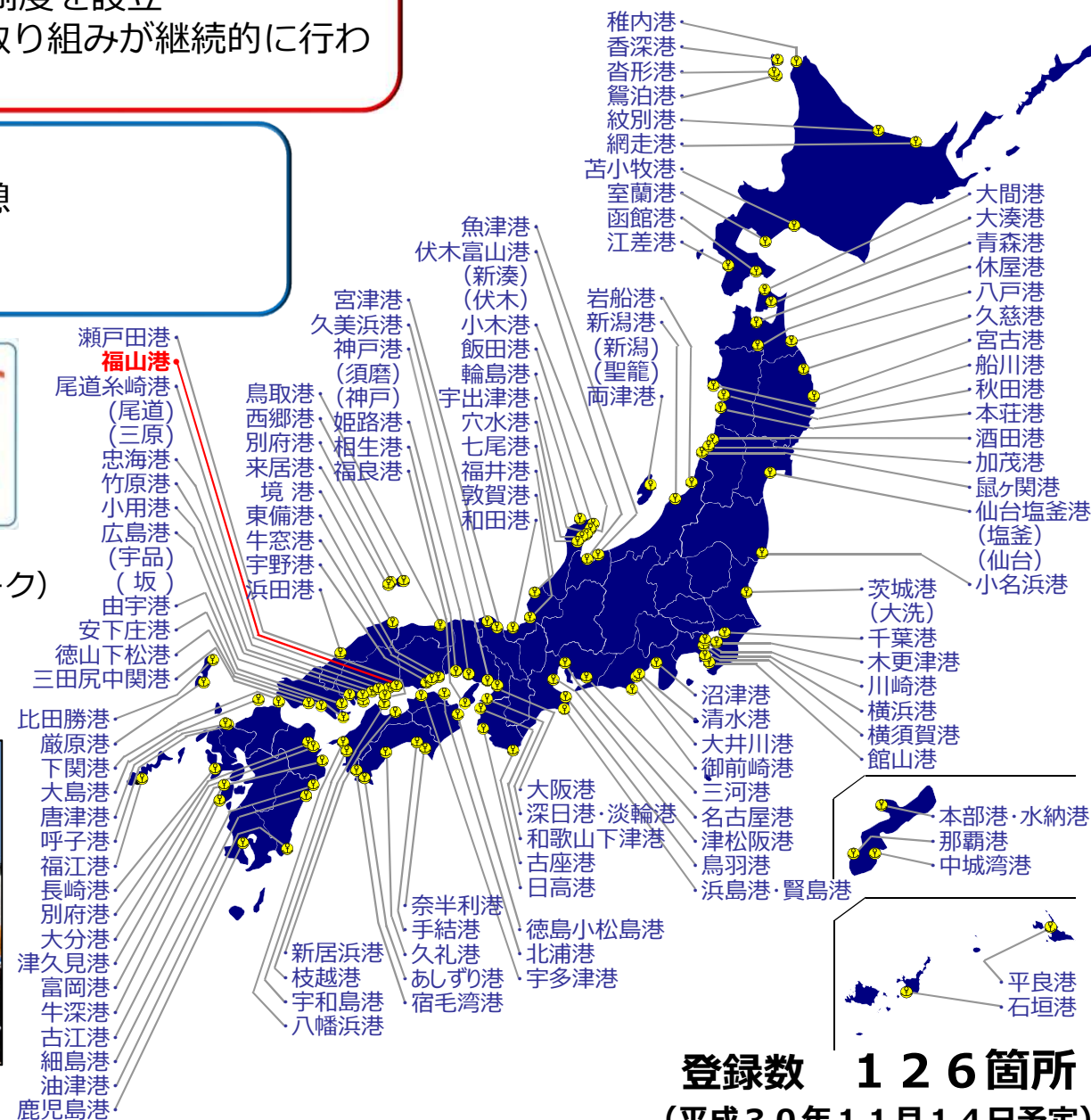
- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など



標章
(シンボルマーク)

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



登録数 **126箇所**
(平成30年11月14日予定)



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

【概要】みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成



【基本情報】

設置者	福山市
運営者	公益社団法人福山観光コンベンション協会
所在港湾	福山港 【重要港湾】
港湾管理者	広島県

【代表施設】



福山市営渡船場

【主なイベント】



鞆の浦弁天島花火大会



鞆・町並みひな祭



鞆の浦観光鯛網

“潮待ちの港”の歴史

しおま みなと とも たら
 みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦



時代を先取りする人と文化が集まる町

鞆の浦は昔から潮待ちの港として栄え、豊かな文化を育んできました。満ち潮になると西は豊後水道や関門海峡から、東は紀伊水道から潮が入り、鞆の浦沖でぶつかります。やがて西廻り航路が開発され、北前船などの商船が出入りするようになると港町としてさらに発展しました。

江戸時代には朝鮮通信使やシーボルトを伴ったオランダ商館長の一行が入港するなど国際都市の一面ものぞかせ、時代を先取りして進化し続けました。歴史的な遺産も多く見られ、江戸時代の港湾施設である常夜燈、雁木、波止、焚場跡、船番所跡が残っています。



鞆の浦の風景

150年の時をこえて 「いろは丸事件」の足跡をたどる

命がけの交渉を辿る!

1867年（慶応3年）坂本龍馬率いる海援隊の「いろは丸」と紀州藩の軍艦「名光丸」が衝突し、「いろは丸」が沈没しました。その後、龍馬らは交渉を行うために、鞆の浦に上陸し滞在しました。この出来事を「いろは丸事件」といい、鞆の浦には今でも龍馬ゆかりの地が残っています。



福山市イメージキャラクター「鞆龍馬」と平成いろは丸 →

幕末・維新ゆかりの地 福山・鞆の浦と平成いろは丸

鞆の浦福山市営渡船場から仙酔島行きの定期旅客船「平成いろは丸」が運航しています。「いろは丸」とは坂本龍馬率いる海援隊の乗り込んだ蒸気船です。



鞆の浦名産「保命酒」



弁天島×平成いろは丸

観光鯛網と名産グルメ

しおま みなと とも うら

みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦

鞆の浦 初夏の風物詩 ～観光鯛網～

鯛網は、鞆の浦に約380年も伝わる伝統漁法です。外洋で冬を過ごした鯛は初夏、豊後水道・紀伊水道を抜けて、産卵のため波穏やかな瀬戸内海中央部の鞆の浦沖へとやってきます。一般の方も観光船の船上で潮風に吹かれながら、漁の様子を見学でき、古式そのままに網がしぼられ、力強さと繊細さを感じられる情景は見る人の心に刻まれることでしょう。



Web「鞆物語」より抜粋



鯛そうめん



鯛めし



鯛茶漬け



うずみごはん

鞆の浦名物といえば、やはり“鯛”です。鯛めしや鯛茶漬けといった定番から、鯛そうめんなど他ではあまり味わえないメニューもあり、みなとオアシスの周辺では、これらの味覚を堪能することができます。

また、うずみごはんは、ぜいたく品とされた具材をご飯に隠して食していたことがはじまりとされる、福山の郷土料理です。みなとオアシスにお越しの際は、是非ご賞味ください。

交通アクセス

鞆の浦は、JR福山駅から約20kmの距離にあり、代表施設である「福山市営渡船場」にはバス、車、期間限定の「瀬戸内クルージング」でお越しいただけます。

<バス>

○JR福山駅南口 5番バスのりば（約30分）料金：大人550円
日中は1時間に3～5本運行。

<車>

- 大阪方面から：中国・山陽自動車道 福山東IC下車→国道182号線を南下→入江大橋→県道水呑手城線を南へ芦田川大橋→主要地方道福山鞆線（約35分）
- 広島方面から：山陽自動車道 福山SAスマートIC下車→県道津之郷山守線→国道2号→市道芦田川右岸を南下→主要地方道福山鞆線（約40分）

<旅客船>

○尾道から：「尾道駅前」と「千光寺ロープウェイ下棧橋」から約1時間ほどで到着。（※尾道～鞆の浦間は季節航路）
土日祝のみの運行 JR尾道駅前棧橋発は10時、13時の2便
片道2,500円

観光案内の問合せ先

【福山市役所観光課】 電話：084-928-1042

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kanko/>

【福山観光コンベンション協会】 電話：084-926-2649

<http://www.fukuyama-kanko.com/>

周辺の宿泊情報

歴史の町並みを楽しむ他にも、映画やロケ地として有名な鞆の浦はロケ地巡りを目当てに訪れる観光客も少なくありません。

美しいドラマや映画の舞台を楽しみながら宿泊してみたいはいかがでしょうか。

【福山観光コンベンション協会】 電話：084-926-2649

<http://www.fukuyama-kanko.com/>



みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦